

(別紙 12)

大学「地(知)の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください(様式は自由です)。

実習企業・機関	NPO 法人アスイク
実習期間	令和 元年 8月 19日 ~ 令和 元年 8月 23日
学生氏名	山本 翔
実習プログラム	<p>1 日目</p> <p>11:15~ 全体説明</p> <p>12:00~ 全体会議</p> <p>15:10~ 休憩</p> <p>16:10~ 「中学生の放課後まなびサポート」業務説明</p> <p>17:15~ 教室移動</p> <p>18:00~ 「中学生の放課後まなびサポート(八木山教室)」体験</p> <p>19:15~ 日誌記入</p> <p>20:30~ 「中学生の放課後まなびサポート(八木山教室)」振り返り</p> <p>21:00~ 移動・帰宅</p> <p>2 日目</p> <p>12:00~ 「ふれあい広場」業務説明</p> <p>13:30~ 仙台ユニット(放課後まなびサポート)週報ミーティング</p> <p>14:30~ 「ふれあい広場」体験</p> <p>16:20~ 休憩</p> <p>17:00~ 日誌記入</p> <p>18:00~ 「中学生の放課後まなびサポート(新田教室)」体験</p> <p>20:30~ 「中学生の放課後まなびサポート(新田教室)」振り返り</p> <p>21:00~ 移動・帰宅</p> <p>3 日目</p> <p>12:00~ 「ふれあい広場(長町)」体験</p> <p>14:00~ 移動・休憩</p> <p>15:30~ 「小・中・高校生の放課後まなびサポート」業務説明</p> <p>15:45~ 教室移動</p> <p>16:30~ 「小・中・高校生の放課後まなびサポート(利府教室)」体験</p> <p>19:15~ 日誌記入</p> <p>20:30~ 「小・中・高校生の放課後まなびサポート(利府教室)」振り返り</p> <p>21:00~ 移動・帰宅</p>

	<p>4日目</p> <p>12:00～ 「ふれあい広場(榴岡)」体験</p> <p>16:00～ 移動</p> <p>17:30～ 休憩</p> <p>18:00～ 「中学生の放課後まなびサポート(沖野教室)」体験</p> <p>20:00～ 日誌記入</p> <p>20:30～ 「中学生の放課後まなびサポート(沖野教室)」振り返り</p> <p>21:00～ 移動・帰宅</p> <p>5日目</p> <p>12:00～ 「ふれあい広場(泉中央)」体験</p> <p>15:00～ 移動</p> <p>15:40～ 体験</p> <p>17:00～ 日誌記入</p> <p>18:00～ 「中学生の放課後まなびサポート(榴岡教室)」体験</p> <p>20:00～ 日誌記入</p> <p>20:30～ 面談</p> <p>21:00～ 帰宅</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>子どもに勉強を教えたり、楽しく話をするには子どもとの「信頼関係」がとても重要だということに気づいた。子どもと信頼関係を築くことで、子どもの方から話しかけてきてくれたり、自分のしたい事ややりたい事を提案してきてくれたり、子どもの意外な一面を発見するきっかけにもなる。子どもとの信頼関係を築くには以下の3点が大事だと学んだ。1つ目は、子どもの好きな話と好きな事を一緒にする。子どもの好きな話をする事で話しやすい環境と雰囲気を作ることができる。2つ目は、子どもと同じ目線で話す。同じ目線で話すことで、子どもが圧迫感を感じることもなく、私に対しての警戒心も弱まり、安心感を与えることができる。3つ目は、笑顔と相槌である。子どもと話す際には、笑顔と相槌を忘れないことが大事だと感じた。相槌や笑顔で話をする事は、子どもに「話をちゃんと聞いている」と目に見えてわかってもらうための方法でもある。周りの同い年の友達には話しづらいことでも、話を聞いてくれる大人には相談や話をしてくれるため、子どもの様子をうかがったり、話しづらいことを話してもらうためにも笑顔と相槌は大事なのである。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>私は将来、教育業界に携わりたいと考えている。そのため、今回のインターンシップのように、実際に現場に出て、子ども達と面と向かって関わることで、自分に足りなかったスキルや大事な事に気付くことができた。特に、子ども一人一人に合った対応をするには何をすべきか考えながら行動する「論理的思考力」と「柔軟性」がこれから更に伸ばすべきスキルだと感じた。スキルを伸ばすために、ボランティアやアルバイト、サークル活動などを通じ、積極的に様々なことに挑戦をして、いろんな状況を経験することで柔軟性が伸び、今自分が何をすべきかを考えることに繋がると考える。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>フリースクールや放課後学習を通じて、子どもと話したり関わる時間がとても多く、より実戦的で貴重な経験ができたと感じる。実習先の NPO 法人アスイク様では、各教室でそれぞれ違った教室のカラーがあり、1 週間の実習で複数の教室をまわることで、毎回違った子どもと関わる事ができた。いろんな、個性のある子ども達と触れ合うことができるのは、1 つの大きな魅力であると考え。また、勉強を教える放課後学習、子どものしたいことをおもいっきりさせるフリースクール、それぞれ違った運営方法があり、子どもの力を伸ばすためにプログラムを組んでいたりと、子どもと一緒にいる時間以外でも、子どものことを親身になって考えているところも魅力だと感じる。</p>
<p>写真(1~3点)</p>	<p>特になし。</p>

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	NPO 法人 アスイク
実習期間	令和 2 年 2 月 17 日 ~ 令和 2 年 2 月 21 日
学生氏名	志賀遥香
実習プログラム	<p>1日目</p> <p>12:00 出社</p> <p>12:00~15:00 アスイク全体会議</p> <p>15:00~16:00 FHS(ふれあい広場サテライト)仙台・高校生サポート説明会</p> <p>16:30~17:30 休憩</p> <p>17:30~18:00 移動</p> <p>18:00~20:30 放課後学びサポート教室</p> <p>20:30~20:45 日誌記入 振り返り</p> <p>21:00 退社</p> <p>ふれあい広場サテライトとは、日中学校に行けない子供達が勉強やゲームなど遊びに来るところである。</p> <p>2日目</p> <p>12:00 出社</p> <p>12:00~13:15 教室のレクリエーションを考える</p> <p>13:15~14:15 仙台 U 会議</p> <p>14:15~16:30 FHS@榴岡</p> <p>16:30~17:30 休憩</p> <p>17:30~18:00 移動</p> <p>18:00~20:30 放課後学びサポート教室</p> <p>20:30~20:45 日誌記入 振り返り</p> <p>21:00 退社</p> <p>ふれあい広場サテライトでは、子ども達とテレビゲームをしたりボードゲームをして遊んだ。</p> <p>3日目</p> <p>12:00 出社</p> <p>12:00~12:30 教室のレクリエーションを考える</p> <p>12:30~13:15 考えたレクリエーションをやってみる</p>

13:15～13:30 ポストイットでの中間振り返り(できなかったことについて)

13:30～16:30 SC(サポートコーディネーター)導入研修

16:30～17:30 休憩

17:30～18:00 移動

18:00～20:30 放課後学びサポート教室

20:30～20:45 日誌記入 振り返り

21:00 退社

サポートコーディネーターとは、各教室のコーディネートをやる人のことである。コーディネートとは、子ども達が参加しやすい教室を作るためにイベントなどを考えることである。

4日目

12:00 出社

12:00～13:00 プリントレイアウト制作、事務作業

13:00 出発

14:00～16:00 宮城野区青少年健全育成講演会@宮城野区役所

16:30～17:30 休憩

18:00～20:30 放課後学びサポート教室

20:30～20:45 日誌記入 振り返り

21:00 退社

宮城野区青少年健全育成講演会とは、アスイクの活動を広める講演会のことである。今回は宮城野区を対象とした講演会だった。

5日目

10:30～11:30 体験プログラム打ち合わせ@関空間設計

11:30～12:30 休憩

12:30～13:30 ポストイットでの振り返り(出来るようになったことについて)

13:30～14:30 子供食堂について調べる

14:30～15:30 振り返り

15:30～16:00 移動

16:00～19:00 子供食堂@多賀城

19:00～19:15 日誌記入 振り返り

19:30 退社

子ども食堂とは、食事を通して子ども達と保護者の方々に居場所を提供する場所である。

<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>私はこのインターンシップで学校以外の場における子ども達との関わり方や、自主性を身につけたいと思い参加した。子ども達と関わることは自分から話しかけることや、子ども達のその日の様子を見て悩みがあることや、元気がないことなど感じる事が大切だと思った。自分から話しかけることが子ども達の心の扉を開けるためにとても大切だと学んだ。もっと周りの人々にアスイクの活動を知ってもらおうことで、子ども達が生活しやすい環境を作りたいと考えてくれる人が増えるとよいと感じた。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>これから教育実習や、就職活動で自主性はとても大切なスキルだと思った。これからも活かしていきたい。教員になると子ども達や、保護者の方々と接する場面が増える。その時今回のインターンシップで学んだことを生かせるようにしたい。</p>
<p>インターンシ ップをして気づ いた、実習先の魅 力 (300字)</p>	<p>子供たちがそのときやりたいことを大人の人と一緒に遊んだりすることは学校で体験することができないため、子供達にとってとても良い経験だと思った。アスイクの存在は、子ども達一人一人にとって日頃の悩み事など相談に乗ってもらえる環境があることは子ども達の心のバランスを保つために必要だと思った。日頃気を使って生活している子ども達にとって相談や些細な話ができるアスイクは特別な存在だと感じた。子ども達も、その場で働く職員の方々はとても明るくてお互いを信頼し合ってるからこそできる素敵な場所だった。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	